

昇級審査会規定及び申し合わせ事項（一般）

【規定】

入間郡市柔道連盟 令和5年8月13日改定(合格基準変更)

項目	三級	二級	一級	備考欄
審議料	2,000円(柔道手帳500円)			
形講習料	-	-	500円 (投の形:男女)	1級不合格者の場合も受験可能
受験資格	中学生時修行期間が4か月以上経過	三級合格者	二級合格者	
試合時間	実技審査を実施	3分	3分	2分とする場合がある
試合方法	1組6人編成	※原則6人のリーグ戦で5試合		
合格基準	服装、礼法、受身打込み、投込み等の実技で審査	①2勝以上 ②通算2勝以上	①2勝以上 ②通算2勝以上 ③投の形の講習	男女別で実施する
試合の判定	-	技有以上または指導差2以上		

※35歳超過者の2・1級審査は打込み、投込み、乱取り等により合否を決定する。

【試合方法（5人以下）】

受験者数	級	審査方法	評価（合格基準）
1名	1・2級	受身・礼法・打込み、指導員との乱取	審判員の判断により合否を決定
2名	1・2級	2試合実施・約束稽古1回	審判員の判断により合否を決定
3名	1・2級	2試合実施・約束稽古1回	審判員の判断により合否を決定
4～5名	1・2級	5試合（同じ者と1～2試合）	1級：2勝以上(通算2勝) 2級：2勝以上(通算2勝)

※注1：中学生と高校生以上及び1級受験者と2級受験者との試合は実施しないこと。

【審判規定・申し合せ事項】

判定項目	組合せ、摘要規定	
	中学生のみの場合	高校生以上の場合
①相手の後ろ襟、背部または帯を握ること	○（認める）	○
②両膝を最初から同時についての背負投	×（指導）	○
③関節技	×（指導）	×
④絞め技	×（指導）	×（指導）
⑤絞め技の「見込み一本」	絞め技禁止	絞め技禁止
⑥三角絞	×（指導）	×
⑦無理な巻き込み技（大外刈り、払い腰等）	×（指導）	○
⑧頭を抱えて施す大外刈り、払い腰など	×（指導）	○
⑨抑えられた者が頸関節、脊椎等の故障につながると判断される場合	○（「待て」の宣告）	×
⑩亀の相手の下半身を持ち上げて、肩から上方に返す（県柔連申し合せ事）	○（「待て」の宣告）	○（「待て」の宣告）
⑪絞技で落ちた後の試合出場(高校生以上)	1度目は本人保護者の了解で継続可、2度目は不可	

【リーグ戦編成】

【男子、女子共通】

- ①リーグ戦の編成は、級ごとに男女の順に原則として6人組とする。
- ②人数が端数の場合は7人組・8人組で編成し、一人5試合行わせる場合もある。
- ③中学生、高校生以上ごとに身長順（体重も考慮）に整列する。（3回以上の受験者は適宜前に）
- ④中学生と高校生以上の試合、1級受験者と2級受験者との試合は実施しない。
- ⑤1級・2級の合格受験者数が少ない場合、試合の他に乱取り等により総合評価で合否を判定。

昇級審査会規定及び申し合わせ事項 (少年)

入間郡市柔道連盟 令和5年8月13日改訂 (様式一部修正)

【規定】

項目	少年三級	少年二級	少年一級
審議料	1,000円 (柔道手帳500円)		
受験資格	小学3年生以上 修行18か月以上	小学4年生以上 修行21か月以上 3級取得後3か月以上	小学5年生以上 修行24か月以上 2級取得後3か月以上
特記事項	1. 受験者は、埼玉県柔道連盟を通じて全日本柔道連盟に登録し、スポーツ保険に加入していること。 2. 受験者は、柔道手帳を購入し、3級、2級、1級の順に受験して手帳に記録すること。 3. 少年1級合格者は一般3級と同等と認定し、8月の一般昇級審査で2級を受験できる。		

【審査内容】

区分	No.	3級	2級	1級	審査事項	審査内容
① 服装 礼法	1	○	○	○	服装	<ul style="list-style-type: none"> ・柔道着の着方 ・帯の結び方
	2	○	○	○	立礼	<ul style="list-style-type: none"> ・気をつけの姿勢 ・頭・上体の角度、秒数
	3	○	○	○	正座	<ul style="list-style-type: none"> ・立姿勢から正座への動作 ・正座から立姿勢への動作
	4	○	○	○	座礼	<ul style="list-style-type: none"> ・正座の姿勢 ・礼の角度、手の形、秒数
② 受身	5	○	○	○	後方 (各10回)	<ul style="list-style-type: none"> ・長座、中腰、立姿勢から後方受身 ・頭を打たない、肘をつかない
	6	○	○	○	前方 (5回)	<ul style="list-style-type: none"> ・膝付き姿勢から前方受身 ・手付きせず、顔・腹をつかない
	7	○	○	○	側方 (左右各5回)	<ul style="list-style-type: none"> ・長座、中腰、立姿勢から側方受身 ・腕の角度、肘を伸ばす
	8	○	○	○	前方回転 (左右2往復)	<ul style="list-style-type: none"> ・入りの手のつき方 ・受身の形 (足の形、手の角度)
③ 固技	9	○	○	○	袈裟固・横四方固	<ul style="list-style-type: none"> ・抑込の形ができる。 ・抑込で容易に逃がさない
	10	-	○	○	亀からの攻め方	<ul style="list-style-type: none"> ・亀の相手を返して抑込める ・攻め方がわかる
	11	-	-	○	寝技乱取	<ul style="list-style-type: none"> ・寝技乱取で攻防ができる (1分間)
④ 立技 受身	12	○	○	○	前技 [腰技、背負投等] (2回)	<ul style="list-style-type: none"> ・打込み5回目で投げる (2回)
	13	○	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・投げられて受身ができる
	14	-	○	○	後技 [小内刈、大内刈等] (2回)	<ul style="list-style-type: none"> ・打込み5回目で投げる (2回)
	15	-	○	○		<ul style="list-style-type: none"> ・投げられて受身ができる
	16	-	-	○	連絡技	<ul style="list-style-type: none"> ・小技から大技の連絡技ができる ・約束稽古で投げられる。 (1分間)